

Foreword 巻頭言

「変革」と「チャレンジ」の年を迎えて。

代表取締役社長
黒川 茂

2014年を振り返ると、フィギュアスケートの羽生選手やテニスの錦織選手など、スポーツ界において、世界の舞台で躍動する若い力が印象に残りました。当社のシンボルスポーツであるバドミントンでも、世界の強豪8組が参戦した「スーパーシリーズファイナル2014」において、実業団バドミントン部の女子ダブルス高橋・松友ペアが日本勢初の優勝という快挙を成し遂げました。彼らや彼女らが頂上を目指して積極果敢に挑戦する姿は、私たちに勇気と感動を届けてくれました。

企業も同様に、高みを目指して挑み続けていくことが大切だと思います。日本ユニシスグループも、さらなる成長に向けた新たな中期経営計画「Innovative Challenge Plan」(2015～2017年度)を発表しました。クラウドサービスやIoT(Internet of Things)などの技術革新によって、社会は大きく変わろうとしています。その変化と時代の潮流を的確に捉えれば大きなチャンスになります。新しいビジネスチャンスに挑戦すべく、中期経営計画では「ビジネスモデルの変革」を掲げ、利用者

視点に立った新たなビジネスを創出し、企業間連携を支える基盤を構築することを目指します。これまでにも当社は、社会の変化を捉えたソリューションやサービス、そして多様なお客様とのパートナーシップといった資産を育て、磨き上げてきました。今後はそれらの資産を組み合わせてビジネスを創出していきます。例えば、多様な決済手段に対応できる新たな決済プラットフォームや安心して暮らせる社会基盤の提供にチャレンジしていきます。

一方で、当社のコア事業であるシステム開発からサポートまでの従来ビジネスについても、お客様のビジネススピードに追随し、安心できるサービスをより速く提供するため、開発プロセスの変革を進めます。長年培ったノウハウやサポート力などの資産を有効活用し、最速・最適なサービスを提供できる体系を整えていきます。これらの戦略を実行し、お客様のビジネスの成功や新たな価値の創造に貢献しながら、お客様や社会とともに持続的な成長を目指してまいります。本年もよろしくごお願い申し上げます。



KUROKAWA Shigeru

Profile 1974年の入社以降、信託銀行、地方銀行、メガバンクなど金融部門の技術者として長年携わる。製造・流通部門のプロジェクトに参加したのち、2003年からは再び金融部門の統括部長やプロジェクトマネジャーを歴任。2008年に執行役員 兼 SW&サービス本部長に就任、執行役員 兼 経営企画部長、常務執行役員 兼 システム統括部門長などを経て、2011年6月、代表取締役社長に就任。